

令和4年度 事業概要

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和4年度は新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式が浸透してきたことなどから、サロンなど地域活動が徐々に再開されました。

一方で、高齢化や核家族化が更に進行し、筋力・体力・認知機能の低下などが進み生活のし辛さを抱える方が増加したことによって、住民参加型在宅福祉サービスなどの利用件数が急激に増加しました。許容を超える依頼に対して、お断りせざるを得ない場面が度々ありました。

また、令和2・3年度で進めてきた成年後見制度（法人後見事業）につきましては、2件を受任いたしました。

令和3年度から導入しているICTの取組では、総務省の「デジタル活用支援推進事業」を受託し、生涯学習センターをはじめ自治会館等へ出向いて、合計14回のスマホ教室を実施しました。延べ175名の参加をいただき、マイナンバーカードの普及並びにマイナポイント取得の推進に貢献するとともに、スマホの活用を促進しました。

当初より2年で見直しを予定していた「わくわく・ショッピング」については、令和4年度が2年目だったことから、利用者のアンケートを実施しました。身体的な理由で利用を断念された方はいるものの、継続利用の方が多く、現在の利用者は100%の方が事業継続を希望されました。関連する移動販売事業では、定期的に拠点へ出向き利用者のモニタリングを行い、ニーズに合わせた拠点の見直しなどを実施しました。

1. 地域福祉活動推進部門

- ◆買物支援事業を本格的に実施し、多くの方にご利用いただきました。
- ◆わくわく・ショッピングの実施にあたっては、移送サービスの運転ボランティアと新たに介助ボランティアの協力によりスムーズな運行ができました。
- ◆福祉専門職の交流会では、「定期的に開催して欲しい」という声が出され、関係者の間で情報共有の必要性について共感することができました。

(1)生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)設置

目的	既存の取組み・組織等を活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域のニーズと取組みのマッチング等のコーディネートを行い、生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進します。		
目標	買物支援事業の実施による優先的な生活課題の改善を図ります。モニタリングによる事業評価を行い、大井町流の生活支援のしくみづくりを進めます。	評価	◎

①生活支援ニーズとサービス等のマッチングの促進

令和4年度は、生活応援隊のゴミ出し依頼の件数が大幅に増加しました。初回の面談時に積極的に立ち合い、ゴミ出し以外のニーズなどを聞き取り、移送サービスやわくわくショッピングの利用につながることができました。

また、移動販売についても定期的に販売拠点を巡回し、利用状況を確認するとともに拠点の追加や休止の調整を行いました。

事業名称等	期 日 等	内 容
移動販売	毎週水曜日午後	◎4月から町内9拠点での販売を行いました。 (篠窪・柳・中屋敷・下山田・上大井・馬場・市場・新宿・吉原) ◎毎月モニタリングを実施し利用状況等の把握を行うなかで、2月に拠点の変更をし、新宿山王社での販売をスタートさせ、利用者等が増加しました。
わくわく・ショッピング	毎週木曜日午前 スーパーヤオマサ大井町店・あしがらモール店	◎運転ボランティア・介助ボランティアの協力により実施 ◎買物支援事業利用者など35名の登録 ◎車輛は既存の8人乗りに加え、10人乗り送迎車輛を購入。 (共同募金配分金、指定寄付等が財源) 実施回数 47回 延べ利用者 748人 登録者 35人

②ネットワークの拡充

福祉専門職との連携強化を目的に、専門職交流会を開催しました。初回ということもあり、高齢・障がい・児童などのジャンルは限定せず、様々な職種の方に参加いただきました。開催後のアンケートでは、参加されたほとんどの方が「継続的に開催してほしい」と回答されました。

事業名称等	期 日 等	内 容
専門職交流会	8月17日(水) 生涯学習センター	①大井町のふくしの現状について ②これからの福祉活動について グループワーク《ワールドカフェ》 【参加された専門職】 ◆社会福祉士6名 ◆介護福祉士4名 ◆精神保健福祉士2名 ◆介護支援専門員1名 ◆主任介護支援専門員1名 ◆相談支援専門員1名 ◆保健師1名 ◆保育士1名 延べ15名の参加

③社会資源の把握や周知、新たな資源等の創出に関する計画

フォーマル・インフォーマルサービスの連携等を目的に、データ更新・追加を行った「社会資源一覧表」と社協の各種在宅福祉サービスのチラシを、町内・外の居宅介護支援事業所等に配付しました。

事業名称等	内 容
社会資源一覧表のデータ更新・追加	◎既存のデータを更新並びに検索をしやすくするため、目次を追加 ◎民生委員児童委員をはじめ、町内・外の居宅介護支援事業所へ配付(約50事業所)
生活支援提供者フォローアップ	◎各種講座の案内などを送付
生活支援提供者養成研修	はじめの一步講座の開催《2月10日(金)、16日(木)》会場:生涯学習センター ◎大井町の福祉の現状 ◎西大井ふくしの会の調査活動について
課題解決へ向けた新たな資源の開発	◎松田町の移動販売車による販売の実施(運行:足柄上商工会松田支部) ◎わくわく・ショッピング(買物ツアー)の運行

(2)小地域福祉活動推進事業

目 的	自治会を単位とした生活圏域での福祉活動の推進		
目 標	新型コロナの動向を確認しながら、これまで取り組んできたサロン活動(居場所づくり)の再開へ向けた支援をし、サロン活動を拡充します。	評 価	○

①小地域福祉活動推進組織助成金交付・連携・協働

令和4年度は13の組織に総額983,000円の活動助成金の交付を行いました。前年度と比較して234,000円の増加となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度助成金は、残額を差し引いて助成を行いましたが、令和4年度は、活動が再開しはじめ残額が減少したことによるものです。

また、重点事業には「支えあい活動推進事業助成金」にて、7組織に90,000円を助成しました。

地域の要請に応じて担当職員を派遣し、各地区の事業・活動を支援したり、情報提供、情報発信を行いました。

併せて、地域活動の情報提供を目的に毎月「ふくしの会通信」をふくしの会役員など約90人にメールで送信しています。

【各地区への主な参加状況】

新たな活動の情報収集や支えあい活動の創出にむけた調整を行うため活動場所に出向きました。

地区名	期日・会場	内容
河原ふくしの会	6月7日(火) 河原自治会館	・ふれあいサロン
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	6月10日(金) 根岸上自治会館	・防災出前講座
新宿ふくしの会	6月10日(金) 新宿自治会館	・にじいろの会
馬場ふくしの会	6月20日(月) 馬場公民館	・ひまわりサロン
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	8月31日(水) 根岸上自治会館	・認知症講座
上山田福祉推進 協議会	10月22日(土) 会長宅	・里山ガーデン秋
市場ふくしの会	12月21日(水) 市場自治会館	・ICHIBA DE CAFÉ
西大井ふくしの会	1月17日(火) 西大井自治会館	・アンケート調査結果について ・サポート隊の活動について
河原ふくしの会	3月13日(月) 河原自治会館	・囲碁会
西大井ふくしの会	3月16日(木) 西大井自治会館	・井戸端いきいきサロン



〔指定地区〕新宿・河原・根岸上・根岸下・市場・馬場・金手・上大井・西大井・篠窪・柳・上山田・中屋敷

名称	区分	内容等
新宿ふくしの会	主な事業	・にじいろの会(サロン、毎月10日) 延べ151名の参加 ・ふれあいサロン1回、会食会1回、廃品回収を2回実施
	広報	◎2回発行(5月 第41号 8月 第42号 11月 第43号 2月 第44号) (カラー発行)
河原ふくしの会	主な事業	・ふれあいサロン・囲碁会(毎月1回)、おしゃべり会など
	広報	◎1回発行(3月 第25号) (カラー発行)
根岸上ふくしの会 ゆうゆう	主な事業	・防災出前講座や認知症講座、歩いてふれあい会など
	広報	◎1回発行(3月) (カラー発行)
根岸下ともしびの 会	主な事業	・中学生との交流会やふれあい活動、ペタンク大会など
	広報	◎1回発行(2月 第17号) (カラー発行)
市場ふくしの会	主な事業	・ICHIBA DE CAFÉを年間6回開催 ・春と秋の花壇づくりを実施
馬場ふくしの会	主な事業	・ひまわりサロン(毎月1回定期的に開催) ・おしゃべり会(4回)、焼き芋大会など
	広報	◎2回発行(7月 第30号 2月 第31号)
金手ふくしの会	主な事業	・カフェかなで(毎月1回)を実施 ・高齢者支援事業として、サークル支援活動を実施

名 称	区 分	内 容 等
上大井 福祉わかばの会	主な事業	・つどい(毎月1回)延べ181名の参加 ・ふれあい里山は延べ106名、ふれあい花の道は139名の参加
	広報	◎1回発行(1月 第38号)
西大井ふくしの会	主な事業	・井戸端いきいきサロン(毎月第3木曜日)延べ213名の参加 ・子育てスクスク応援隊を4回開催し延べ116名の参加 ・「地域福祉・生活支援活動アンケート調査」
	広報	◎2回発行(6月 第72号 12月 第73号)カラー発行
篠窪ふくしの会	主な事業	・自治会館花壇の植え替えを実施 ・敬老の祝い品を配布
柳ふくしの会	主な事業	・長寿の祝い実施 ・県道グリーンベルトの花植えや草刈りを実施
上山田福祉推進 協議会	主な事業	・里山ガーデン秋の開催 ・見守り花壇、ありがとう花壇、街角プランターの管理など
	広報	◎1回発行(3月)
中屋敷ふくしの会	主な事業	・敬老の日のプレゼントやどんど焼きなどを実施

②小地域福祉活動推進組織連絡会の開催

小地域福祉活動推進組織で連絡会を構成し、活動の充実をねらいとし情報交換や交流・連携を図ることを目的に設置しています。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
第1回小地域福祉活動推進組織連絡会	3月3日(金) 生涯学習センター	(1)コロナ禍における各地域の活動状況について (2)令和5年度助成金について (3)その他

(3)ボランティアセンター事業の拡充

目 的	ボランティア活動の普及・啓発事業を目的に、ボランティアの日などの事業を実施します。また、各種ボランティア講座等を開催しボランティア人材養成・確保に努めます。		
目 標	ボランティアグループや学校との連携によりボランティア活動を推進します。	評 価	○

①ボランティア登録相談・連絡調整

ボランティアセンターとして、ボランティアに関する相談・支援や必要に応じた派遣調整を行っています。新規のボランティア登録が9件ありました。

②ボランティアグループ等への活動支援と助成

既存ボランティアグループ2団体へ活動費を助成をしました。新型コロナウイルス感染症の関係で、活動を休止したことなどで支出が抑えられたことなどを考慮し、必要額を改めて算出するなど状況に合わせて助成しました。(2団体へ総額 76,000円助成)

③ボランティアの実施

- 毎月23日をボランティアの日と制定し、各種ボランティア活動を推進しています。
- 公共施設に設置している回収ボックスからペットボトルキャップ・インクカートリッジ等を随時回収しました。



期 日 等	場 所	内 容
4月22日(金)、5月23日(月) 6月23日(木)、9月22日(木) 10月21日(金)、12月23日(金) 1月23日(月)、2月22日(水) 3月23日(木)	町内小中学校及 び公共施設	小・中学生登校時にペットボトルキャップ等回収。 ペットボトルキャップ 920Kg、 ベルマーク 74, 284点 (内 9,232点はテトラパック 286.7kg)

④ボランティア講座の開催

名 称	期 日 等	内 容
手話入門講座	7月27日(水)～ 8月24日(水)までの 全5日間 生涯学習センター	手話を通じて、聴覚に障がいのある方々の理解を深めるとともに、手話の基礎を学ぶ機会として開催。 講師: 足柄上ろうあ福祉協会会員、足上手話通訳者連絡会員
傾聴入門・スキルアップ講座	10月19日(水) 保健福祉センター	傾聴ボランティア養成講座として入門編を、既存のボランティアのスキル向上を目的にスキルアップ編を開催しました。 講師: 鈴木しげ氏(NPOシニアライフセラピー研究所理事長) 参加者延べ 39名

⑤傾聴あしがら活動支援

- 新型コロナウイルスの影響で、高齢者施設等から傾聴ボランティアの受け入れ自粛の連絡があり、施設での活動を休止していますが月に1回の定例会を開催しました。
- 在宅で傾聴ボランティアの訪問を希望される方に、ボランティアの派遣調整を行いました。

⑥静岡県静岡市清水区災害ボランティアセンター運営支援

台風15号による被害を受けた静岡県静岡市清水区の災害ボランティアセンターの運営支援のため、11月16日～20日までの間、現地へ赴きました。

現地ではマッチング班を担当し、ボランティア派遣要請と来られたボランティアの派遣調整を行いました。また、本会が既に導入しているkintoneの活用状況等を視察することができました。Kintoneは災害時に無償提供されますが、日頃から使い慣れていないと有事に活用し辛いといった現状と、導入のタイミングによっては、従来のやり方でスタートしてしまい、二重の手間となるなどの課題を垣間見ることができ貴重な体験となりました。

(4)第3次地域福祉プランの進行管理

目 的	地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体計画である地域福祉プランの第3次計画を推進します。		
目 標	進行管理委員会を開催し、計画の進捗状況を評価や公表することで、これまでの取組の振り返りや今後の取組、見直しに活かします。また、単年度計画や他の中長期計画の進行管理にも活かしていきます。	評 価	○

①進行管理委員会等の開催

地域福祉プランの進行管理を行うために町福祉課との協議・委員会を開催しました。

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
進行管理委員会	3月28日(火) 社協事務所	○正副委員長の選任について ○令和3年度事業・活動等の評価について

(5) 広報・啓発活動、情報提供の充実

目 的	福祉に関する、サービス・ボランティア・地域活動等のタイムリーな情報を発信し、福祉への理解・参加を促進する		
目 標	・ ホームページの刷新により、アクセス数を増やし情報の発信・周知方法の拡充を図ります。 ・ 昨年度表彰できなかった功労についても、漏れなく推薦いただけるよう関係機関と連携します。	評 価	◎

①社協ホームページの運営

ホームページのリニューアルを行いました。事業の案内や地域の情報など身近な内容を発信していきます。

<https://ooi-shakyo.jp> でご覧いただけます。

右記の二次元コードを読み取っていただくとスマートフォンでもご覧いただけます。



②ICTの導入による業務改善

一昨年より導入しているkintoneを活用し、日々の業務改善を推進しています。令和4年度から道路交通法施行規則の改正により、安全運転管理者に対し職員並びに運転ボランティアの運転前後の酒気帯びの有無の確認と当該記録の保存が義務化されました。こうした記録をアプリを活用して管理することで、ペーパーレス化も推進しています。

また、総務省の「デジタル活用支援推進事業」を活用して「スマホ教室」全14講座を、生涯学習センターをはじめ町内の自治会館へ出向いて実施いたしました。スマホの基本操作から、マイナンバーカード並びにマイナポイントの取得などを行いマイナンバーカードの普及に貢献するとともに、スマホの活用促進を図りました。(延べ参加者175名)総務省から891,000円の補助金をいただきました。

スマホ教室を開催するなかで、LINE公式アカウントを取得しリアルタイムな情報発信手段として各種情報発信を行いました。

大井町社協 LINE公式アカウント お友達随時募集中



名 称	期日等	会 場	内 容
スマホ教室の開催	①9月10日(土)10時～12時	生涯学習センター	◆スマホの基礎Ⅰ ・電話のかけ方
	②9月10日(土)13時30分～15時30分	新宿自治会館	
	③9月16日(金)10時～12時	生涯学習センター	・カメラの使い方 ・メールの使い方
	④9月16日(金)13時30分～15時30分	金手自治会館	
	⑤9月20日(火)10時～12時	生涯学習センター	◆マイナンバーカード 申請
	⑥9月20日(火)13時30分～15時30分	生涯学習センター	
	⑦9月21日(水)10時～12時	生涯学習センター	
	⑧9月21日(水)13時30分～15時30分	生涯学習センター	
	⑨10月4日(火)10時～12時	市場自治会館	◆スマホの基礎Ⅱ ・アプリのダウンロード
	⑩10月17日(月)13時30分～15時30分	河原自治会館	
	⑪11月2日(水)10時～12時	西大井自治会館	・インターネット使い方 ・SNS(LINE)の使い方
	⑫11月15日(火)13時30分～15時30分	ふれあい館	
	⑬12月2日(金)10時～12時	そうわ会館	◆マイナポイント申請
	⑭12月13日(火)13時30分～15時30分	生涯学習センター	

③福祉みんなのつどいの開催

地域に根ざした社会福祉の確立に向けて住民一人ひとりが何をすべきかを考える機会とし、併せて社会福祉に貢献された方々の功績を讃えることを目的として開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、不特定多数の方が来場する、飲食を伴う「ボランティアフェスティバル」は昨年度に引続き中止としました。

期日・会場	内 容 等
11月23日(祝) 生涯学習センター	◎福祉功労者の表彰(表彰8件、感謝4件) ◎福祉作文優秀賞の贈呈(小・中学生10名) 来場者約150名

④広報紙の発行

社協活動の周知・福祉情報の提供、住民の福祉意識の高揚を図るため広報紙「社協おおい」を原則隔月(奇数月の15日)で発行し自治会加入世帯及び賛助会員、関係機関に配布しました。

号数・発行期日	主な内容
各号共通掲載記事	●ようこそボランティアセンターへ ●善意の寄託金品 ●社協カレンダー ●広告(10社)
第193号 5月15日	表紙：運転ボランティア講習会開催 ◎令和4年度事業計画・予算 ◎ふくしの会の紹介 ◎善意の募金箱設置店募集 ◎ボランティア活動紹介 ◎かざみどりおしゃべり会 ◎歌謡曲DVDご寄附のお願い
第194号 5月15日	表紙：くるまつくん運行中 ◎サマーチャレンジセミナー ◎令和3年度事業報告、決算報告 ◎社協会費納入のお願い ◎専門職懇談会の開催 ◎役員・評議員の交代 ◎法人後見事業の案内
第195号 9月15日	表紙：スマートフォン入門講座開催 ◎スマホ講座開催 ◎赤い羽根共同募金 ◎サマーチャレンジセミナー報告 ◎夏休み事業報告 ◎生活福祉資金特例貸付 ◎食べきれない食材を募集
第196号 11月15日	表紙：スマートフォン入門講座開催中 ◎福祉みんなのつどい ◎福祉作文入選者決定 ◎ライン公式アカウント取得 ◎赤い羽根共同募金運動経過 ◎介護に関する入門的研修 ◎担い手を募集中
第197号 1月15日	表紙：盲導犬講座開催 ◎新年のあいさつ ◎福祉体験学習の報告 ◎神奈川県福祉作文コンクール入選者 ◎賛助・団体会員の紹介 ◎生活福祉資金案内 ◎赤い羽根共同募金実績
第198号 4月1日	表紙：地域のサロン活動中 ◎ふくしサービスの担い手を募集 ◎生活応援隊の案内 ◎会食会事業の終了 ◎移送サービス利用料改定 ◎貸出用品の案内 ◎ともしびショップゆう案内

⑤「みんなの想い」(福祉作文集)発行

名 称	部 数	配 布 先	内 容 等
みんなの 想い発行	250部	小中学校、 福祉みんな のつどい参 加者等	福祉作文の優秀作品をはじめ、サマーチャレンジセミナーの記録などを綴った「みんなの想い」(冊子)を発行し、小・中学校をはじめ、福祉みんなのつどいに来場された方々に配布しました。

⑥会員募集チラシの発行

名 称	部 数	配 布 先	内 容 等
社会福祉 協議会会 員募集案 内	6,000 部	町内の全世 帯 賛助会員 団体会員	社協会員会費制度や会費の活用方法等を掲載し、社協活動の周知と会員加入の増強を目的として、7月の会員募集時に発行しました。

(6) 福祉教育の推進

① ふれあい教育普及校事業等の実施

期日・会場	内 容
5月24日(火) 上大井小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
5月26日(木) 大井小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
5月27日(金) 湘光中学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
5月31日(火) 相和小学校	◎ふれあい教育普及校担当教諭との情報交換
11月1日(水) 相和小学校	◎社協職員による「出前講座」
11月2日(水) ～25日(金) 上大井小学校	◎機材の貸出し 高齢者擬似体験セット、点字器、車イス
11月28日(月) 大井小学校	◎盲導犬講座
12月7日(水) 上大井小学校	◎視覚障がいについての講話への講師派遣
12月8日(木) 大井小学校	◎視覚障がいについての講話への講師派遣
12月14日(水) 上大井小学校	◎手話体験講座への講師派遣
12月19日(月) 相和小学校	◎車いすバスケットボール体験講座への講師派遣



② サマーチャレンジセミナーの開催

小・中学生の夏休みを使って、高齢・障がい者福祉についての理解を深め、命の尊さや多様性の尊重を確認するとともに、他者への思いやりの心を育むことを目的に開催しました。

期 日 ・ 会 場	目 的 ・ 内 容
8月1日(月) 日枝神社境内	◆一日体験講座【ペタンク体験】 講師：河原ゆめクラブ
8月24日(水) 保健福祉センター	◆傾聴講座 講師：アクティヴリッスン

③ 福祉作文の募集・発表

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
福祉作文	夏休み期間	児童・生徒の福祉意識の醸成を図るため実施しました。 ◎小中学生を対象に福祉作文を募集し、神奈川県福祉作文コンクールへ提出しました。中学生2名が入選しました。 【応募総数】 中学生：108編、小学生：64編 計 172編(昨年比△20編減)

④社会福祉士相談援助実習の受入れ

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
社会福祉士 相談援助実 習	6月1日～21日 (15日間)	社会福祉士養成校からの依頼を受けて、ソーシャルワーク実習Ⅰを受入れました。 ◎社協の各事業を通じて、社会福祉士としてのサービス利用者の理解や相談援助技術の基礎などを指導しました。

⑤東海大学生のPBLに関する視察受入れ

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
東海大学生 のPBLに関 する視察	11月29日(火) 社協事務所	東海大学からの依頼により、課題解決型学習(PBL)のフィールドワークとして大井町の福祉の現状等について説明を行いました。 視察後、12月のスマホ教室へ教員1名と学生1名が参加されました。

(7)住民相互の関係づくり支援

目 的	多様な主体との連携が求められる昨今、各種実行委員会事務局として関わるなかで、新たなネットワーク構築の好機と捉えて活動を支援します。		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事用機材の貸し出しを通じた地域コミュニティの推進 ・ ふれあい広場実行委員会支援を通して参加団体との連携強化 ・ チャリティーゴルフ実行委員会開催支援を通して関係者との連携強化 	評 価	○

①行事用機材の貸出

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容																																																																																										
コミュニティ 活動推進用 行事機材の 貸出し	通 年	<p>自治会等各種団体が開催する行事に機材の貸出を行いました。新型コロナウイルスの関係で、自治会の夏祭り等が中止となりキャンセルが相次ぎましたが、貸出件数は24件でした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機材の名称</th> <th>保有数</th> <th>貸出件数</th> <th>前年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>輪投げ</td><td>9セット</td><td>5</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>放送機材</td><td>1セット</td><td>7</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>ビンゴ</td><td>1セット</td><td>1</td><td>2</td><td>△ 1</td></tr> <tr><td>ペタンク</td><td>3セット</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>ビーンボウリング</td><td>1セット</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>ポッチャ</td><td>1セット</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>テント</td><td>7張</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>非接触体温計</td><td>4台</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>かき氷機</td><td>3台</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>綿菓子機</td><td>2台</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>ポップコーン機</td><td>2台</td><td>0</td><td>1</td><td>△ 1</td></tr> <tr><td>プロジェクター</td><td>1台</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>グラウンドゴルフ</td><td>7セット</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>水槽</td><td>2個</td><td>0</td><td>1</td><td>△ 1</td></tr> <tr><td>長机</td><td>11台</td><td>0</td><td>1</td><td>△ 1</td></tr> <tr><td>高齢者擬似体験</td><td>7セット</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>合 計</td><td></td><td>24</td><td>16</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	機材の名称	保有数	貸出件数	前年度	比較	輪投げ	9セット	5	5	0	放送機材	1セット	7	4	3	ビンゴ	1セット	1	2	△ 1	ペタンク	3セット	4	2	2	ビーンボウリング	1セット	3	0	3	ポッチャ	1セット	3	0	3	テント	7張	4	2	2	非接触体温計	4台	4	2	2	かき氷機	3台	1	1	0	綿菓子機	2台	1	1	0	ポップコーン機	2台	0	1	△ 1	プロジェクター	1台	1	1	0	グラウンドゴルフ	7セット	3	1	2	水槽	2個	0	1	△ 1	長机	11台	0	1	△ 1	高齢者擬似体験	7セット	2	0	2	合 計		24	16	8
機材の名称	保有数	貸出件数	前年度	比較																																																																																								
輪投げ	9セット	5	5	0																																																																																								
放送機材	1セット	7	4	3																																																																																								
ビンゴ	1セット	1	2	△ 1																																																																																								
ペタンク	3セット	4	2	2																																																																																								
ビーンボウリング	1セット	3	0	3																																																																																								
ポッチャ	1セット	3	0	3																																																																																								
テント	7張	4	2	2																																																																																								
非接触体温計	4台	4	2	2																																																																																								
かき氷機	3台	1	1	0																																																																																								
綿菓子機	2台	1	1	0																																																																																								
ポップコーン機	2台	0	1	△ 1																																																																																								
プロジェクター	1台	1	1	0																																																																																								
グラウンドゴルフ	7セット	3	1	2																																																																																								
水槽	2個	0	1	△ 1																																																																																								
長机	11台	0	1	△ 1																																																																																								
高齢者擬似体験	7セット	2	0	2																																																																																								
合 計		24	16	8																																																																																								

②ふれあい広場の開催支援

事業名称等	内 容 等
ふれあい広場の支援	4月24日(日)に予定していた第45回ふれあい広場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

③チャリティーゴルフ大会の開催支援

事業名称等	期日・会場	目 的 ・ 内 容
第33回町民チャリティーゴルフ	10月6日(木) 東富士カントリークラブ	・大会当日運営等支援 109名の参加 ・チャリティー金の受領 174,611円
委員会の開催	6月14日(火) 7月4日(月) 9月7日(水) 10月3日(月) 生涯学習センター	・第33回大会の概要について ・その他

(8)当事者活動への支援

目 的	当事者団体の主体的な活動支援と、支えあいのまちづくりに向けた取組を推進		
目 標	・関係団体への支援を通して、主体的な住民活動の促進 ・関係団体の連携と協働の促進	評 価	○

【高齢者事業】

①老人クラブ連合会への支援・協力

町老人クラブ連合会の事務局として役員会・各種行事の運営を担い、各種事業・関係機関との調整等を行いました。

事業名称等	目 的 ・ 内 容
役員会の開催	役員会を9回開催しました。
各種スポーツ大会・文化活動への協力	各種スポーツ大会を開催しました。主な内容は次のとおりです。 5月10日(火)総会 5月19日(木)ペタンク大会 9月19日(月)ペタンク大会 10月25日(火)グラウンドゴルフ大会 11月12日(土)ねんりんピック開会式(横浜アリーナ) 11月13日(日)・14日(月)ねんりんピックペタンク大会(大井町会場) 11月18日(金)足柄上ブロックニュースポーツ大会 11月22日(火)パークゴルフ大会 12月15日(木)ゆめクラブ大学 1月17日(火)輪投げ大会 1月26日(木)初詣(川崎大師) 2月16日(木)友愛活動等支援事業～防犯防災講座～ 3月7日(火)ゆめクラブかながわ生活支援担い手養成シンポジウム
その他	5月25日(水) 2月28日(火) 南足柄市りんどう会館 ◎足柄上ブロック老人クラブ連絡協議会 連合会長・事務局1名 出席

②敬老のつどいの開催等

事業名称等	目 的 ・ 内 容
敬老のつどい	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となりました。

③ともしびショップへの支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
ともしびショップゆうへの支援	随 時	保健福祉センターに設置しているともしびショップに対して、運営上の相談に随時応じるとともに、運営委員会にも参画し、運営の支援をしました。
監査	5月17日(火) 保健福祉センター	・令和3年度事業報告、決算について
運営委員会	6月22日(水) 保健福祉センター	(1)正副委員長の選任 (2)令和3年度事業報告並びに決算報告について (3)令和4年度事業計画、予算について
パソコンひろば大井の支援	4月13日(水) 5月11日(水) 6月8日(水) 7月6日(水) 8月10日(水) 9月14日(水) 10月12日(水) 11月9日(水) 12月14日(水) 1月11日(水) 2月8日(水) 3月8日(水)	パソコンに興味があっても、気軽に触れる機会が少ない障がいのある人などが、パソコンボランティアと一緒にパソコンに触れ、共に楽しむ体験会を定期的に行いました。 延べ利用者28名 ボランティア延べ45名

【障がい者事業】

①アダプテッド・スポーツの会への支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
アダプテッドスポーツ支援	随 時	例年は、知的障がい者と家族・ボランティアが、健康づくりと交流を目的に実施している会へ、体育館やプールの施設利用予約の手続きを支援していますが、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、町施設の貸出しが制限されたことから屋外で活動されました。

②「かざみどり」への支援

研修会等の企画にあたって役員会等に参加するとともに、定例会の開催等についても会場・情報提供等の支援を随時行いました。

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
かざみどりへの支援	随 時	かざみどりへ活動上の支援をしました。
総会	4月14日(木) 生涯学習センター	(1)令和3年度事業報告、決算報告について (2)令和4年度事業計画、予算について
定例会	随時	定例会や役員会において、資料作成などの支援を行いました。

③身体障害者福祉協会への支援

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
総会	6月24日(金) 生涯学習センター	◎令和3年度収支決算・事業報告 ◎令和4年度収支予算・事業計画
研修会	10月28日(金) 埼玉県川越方面	中井町会員との親睦・交流を兼ねた社会見学会を実施しました。

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
交流会	12月19日(月) 市場自治会館	会員との親睦・交流を兼ね「ペタンク」を実施しました。 ペタンク終了後、情報交換を行いました。
研修会(講演会)	2月20日(月) 生涯学習センター	テーマ:「障害者の生きやすい社会と合理的配慮について」 講師:鈴木孝行氏(県身連副会長、他)

【各種福祉団体連携事業】

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
各種団体連携事業	通 年	随時、必要に応じて各種団体の活動や事業を支援しました。 ◎老人クラブ連合会 ◎身体障害者福祉協会 ◎かざみどり ◎小地域福祉活動推進組織 ◎アダプテッドスポーツ

2. 在宅福祉サービス部門

外出支援を目的とする移送サービス並びに買物支援事業の利用が増加の一途を辿っています。生活支援を目的とする生活応援隊についても昨年度に引続き大幅に利用件数が増加しています。こうした傾向は高齢化や核家族化が背景となっており、今後も更に増加することが予想されます。事業を継続していく上では、各サービスの担い手の確保が大きな課題です。

(1)住民参加型在宅福祉サービス

目 的	住民の主体的な参加を促し地域の課題を解決する。また、その活動等を通して個別の課題を地域の課題として捉え、より主体的な活動を継続的に推進する		
目 標	・ 移送サービスの利用者並びに運転ボランティアの拡充 ・ 買物支援事業の周知と利用促進 ・ 生活応援隊の周知と支援件数の増	評 価	◎

①買物支援事業 ※再掲(生活支援コーディネーター設置に詳細を記載しています。)

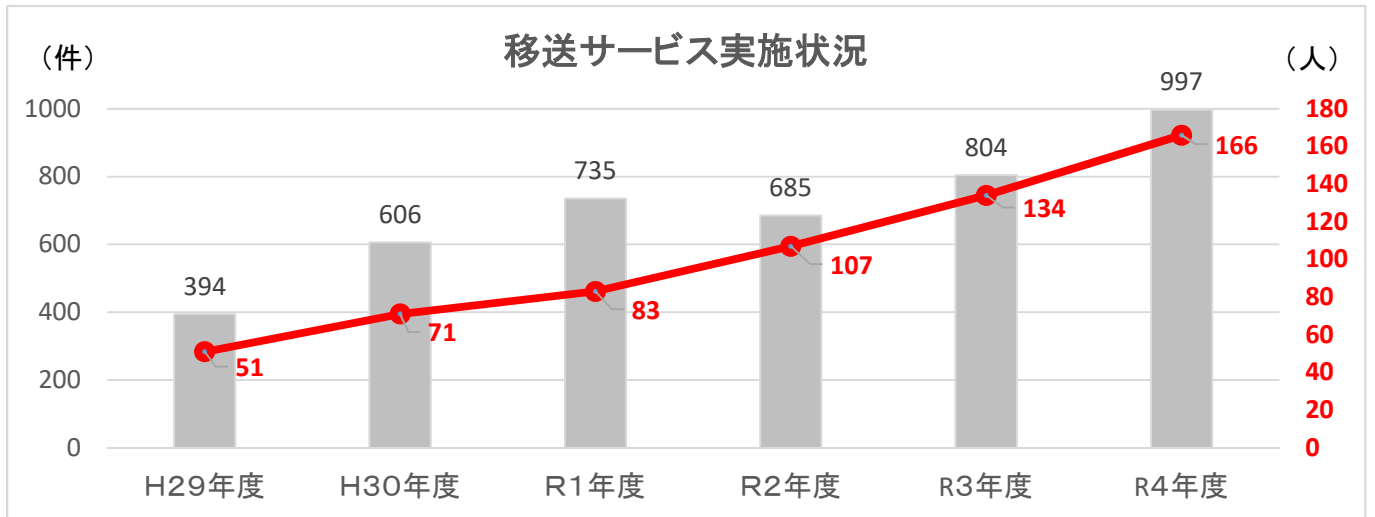
買物支援事業として、「わくわく・ショッピング」と「移動販売」を実施しました。令和2年度の試行を経て令和3年度から本実施となりました。当初から、2年間で事業を見直すこととしていたため、利用登録者を対象にアンケート調査を実施しました。全利用者から「継続して実施してほしい」という回答がありました。また、「実施回数を増やしてほしい」「他の店舗も行ってみたい」などの回答もありました。

わくわく・ショッピングは、移送サービスの運転ボランティアと介助ボランティアの協力をいただき47回実施しました。



②移送サービス事業(福祉有償運送)

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
移送サービス事業	通年 平日の8:30～ 17:15の間	要介護認定者や身体障害者手帳を所有していただける方等で、通院などの移動に困っている方を対象に、自宅から医療機関や福祉施設の間を福祉車両を用いて移送サービス運転スタッフ等が送迎しました。 平成30年度に利用日の前日まで申込みできるようにしたことで、利用しやすくなり、登録者と利用者数が大幅に増加しています。 令和4年度は、車両並びに運転員が足りないなど許容を超える依頼が寄せられ、お断りをしなければいけないことが度々ありました。



	H29年度	H30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数	394	606	735	685	804	997
登録件数	51	71	83	107	134	166
利用距離(km)	3,377	5,165	5,937	5,392	6,036	8,798
ボランティア登録数	16	19	14	15	15	14
利用料金(円)	265,600	515,800	740,800	679,600	762,200	1,015,800

③レスパイトサービス

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
レスパイトサービス事業	学校の長期休暇中 6日間 7月26日(火) 8月10日(水) 8月17日(水) 8月26日(月) 12月26日(月) 3月27日(月) ふれあい館、他	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止策等により、4年度も既存の事業スタイルを変更し、飲食を伴わない半日で実施しました。</p> <p>夏季はプールが使えないことから、主に室内で活動を行いました。ピザ焼体験会を開催し、貴重な体験と楽しい時間を過ごしていただきました。</p> <p>冬季はミカン畑でミカン狩りを行いました。</p> <p>春季は卒業・進学・進級のお祝いを行いました。</p>



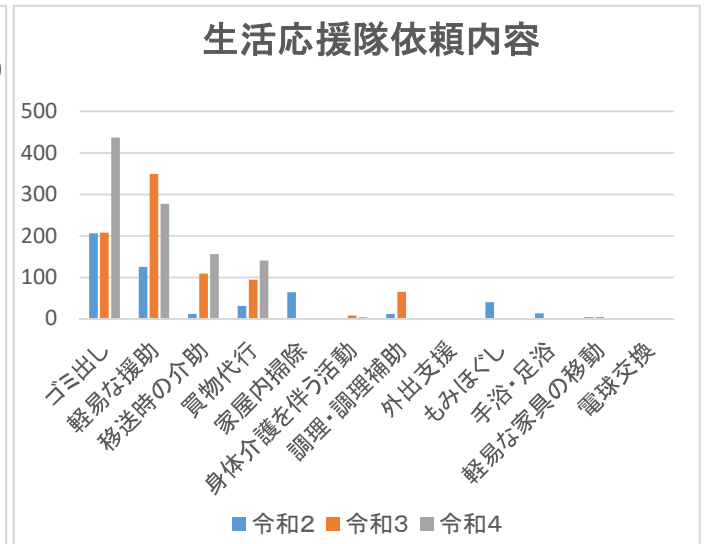
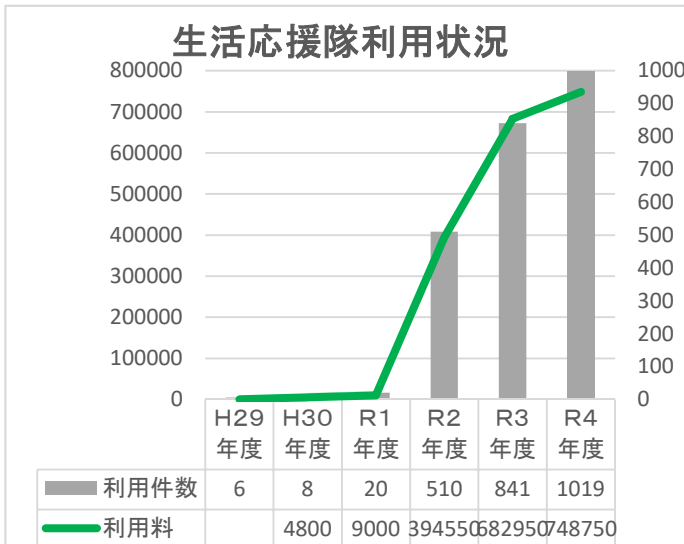
④会食会

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
会食会	中止	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止策により、会場の確保ができませんでした。また、会食並びに会食時の会話の際にマスクの着用が困難であり、感染リスクが高まることなどを総合的に判断し、活動を中止しました。</p> <p>なお、再開の目途がたたないことから、令和4年度をもって事業終了とします。</p>

⑤生活応援隊

事業名称等	期 日 等	目 的 ・ 内 容
生活応援隊	平日の8:30～ 17:15の間	ひとり暮らし高齢者等が地域で安心して生活ができるよう、日常でのちょっとした困りごとを地域の協力員が支援し解決のお手伝いを行います。 令和2年6月サービス内容の見直しを行ったことにより、年々利用件数が大幅に増加しました。 特に令和4年度はゴミ出し支援の依頼が多数ありました。依頼者の傾向は高齢独居者が高齢夫婦世帯で、要介護認定や障がい者です。

	サービス内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①	ゴミ出し	206	208	437
②	軽易な家具などの移動	4	4	0
③	電球・蛍光灯の取替	1	2	1
④	軽易な日常生活上の援助	125	349	277
⑤	買物の代行	31	94	156
⑥	一緒に体操	0	0	0
⑦	調理・調理補助	12	65	0
⑧	家屋内の掃除・整理・整頓	64	0	1
⑨	移送サービスの利用時の介助・病院内の付添い	12	109	141
⑩	外出支援	0	0	2
⑪	ハンドケア・フットケア	13	0	0
⑫	もみほぐし	40	2	0
⑬	身体介護を伴う活動	2	8	4
⑭	その他	0	0	0
合 計		510	841	1,019



(2)その他の在宅福祉サービス

事業名称等	目 的	内 容		
福祉機器貸出事業	介護保険認定外の方を対象に、自立援助と介護者の負担軽減を図ることを目的に車いすを貸出しました。また、学校で行われる福祉教育の際にも貸出を行っています。			
	【貸出状況】	機器の名称	保有台数	貸出件数
		車いす	23台	47件

3. 相談支援事業部門

日常生活自立支援事業においては、現任者研修等へ積極的に参加し、担当職員・専門員等のスキルアップを図りました。生活福祉資金においては、新型コロナウイルス感染症の関連で、特例緊急小口・特例総合支援資金の相談・申請が非常に多く対応に追われました。

(1)日常生活自立支援事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目 的	認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者等を対象に、福祉サービスの利用契約等の手続や利用に伴う支払いなどの支援を行い生活の安定・質の向上を図る		
目 標	利用者の自己実現をサポートするために、体制整備を図るとともに、職員のスキルアップを図ります。	評 価	○

○精神障がい者の方など、相談・契約件数が増加の傾向にあります。

事業名称等	事 業 概 要																														
日常生活自立支援事業	<p>判断能力が不十分な高齢者・障がい者の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を行っています。</p> <p>令和4年度末時点で契約者数は22名となりました。月々の対象者別の問い合わせ・相談状況や相談援助の状況は次のとおりです。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(件) 利用契約状況</p> <table border="1"> <caption>利用契約状況 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知症高齢者</th> <th>知的障がい者</th> <th>精神障がい者</th> <th>身体障がい者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年度</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者	H30年度	6	3	4	1	R1年度	8	2	5	1	R2年度	9	2	6	1	R3年度	14	2	6	1	R4年度	12	5	4	1
年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	身体障がい者																											
H30年度	6	3	4	1																											
R1年度	8	2	5	1																											
R2年度	9	2	6	1																											
R3年度	14	2	6	1																											
R4年度	12	5	4	1																											

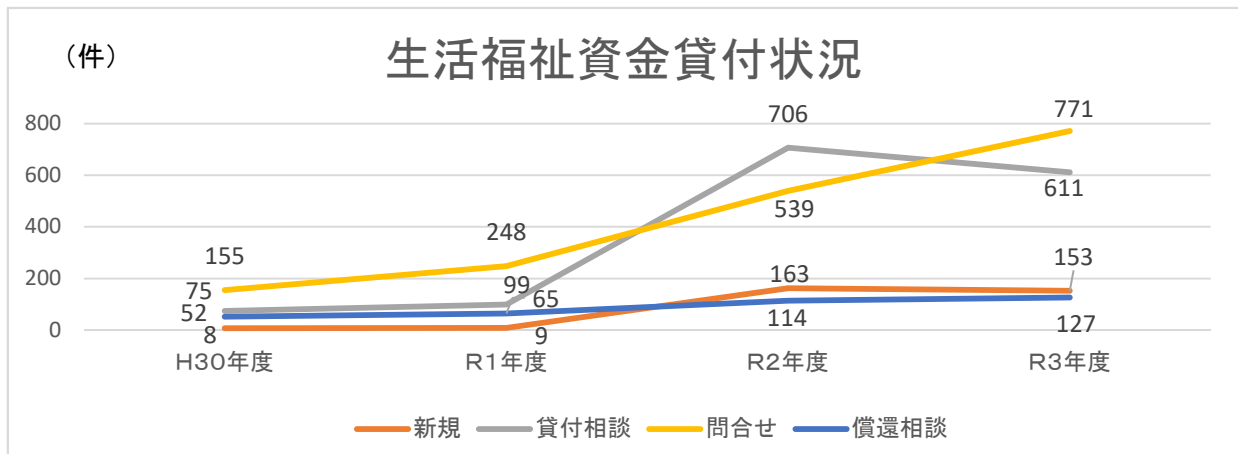
		問い合わせ・初回相談・相談援助、項目別件数			契約件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
問 い 合 わ せ 件 数	認知症高齢者	5	4	11	認知症高齢者	9	14	12
	知的障がい者	0	1	2	知的障がい者	2	2	4
	精神障がい者	3	5	4	精神障がい者	6	6	5
	身体障がい者	0	0	0	身体障がい者	1	1	1
初 回 相 談 件 数	認知症高齢者	3	1	2	計	18	23	22
	知的障がい者	0	1	2	新規契約	3	7	2
	精神障がい者	1	3	3	契約終了	2	2	3
	身体障がい者	0	0	0	令和4年度の契約終了者3名のうち、2名は法人後見へ移行し、1名は転出されました。			
相談援助件数	618	1,123	933					
知的障がい者	596	703	522					
精神障がい者	617	679	490					
	身体障がい者	158	157	80				
合 計		2,001	2,677	2,049				

(2)生活福祉資金貸付事業 (県社会福祉協議会受託事業)

目 的	低所得世帯や高齢者・障がい者世帯などを対象に、一時的に資金を貸し付けることを通じて、世帯の自立支援を図る		
目 標	資金の貸付と返済や完済までの流れの中で、貸付利用世帯がこれからの生活に希望が持てるよう地域民生委員や関係機関と協働し、問題や課題解決に向けた支援を行います。	評 価	◎

事業名称等	目 的 ・ 内 容
生活福祉資金の貸付	低所得世帯、障がいがある方や要介護高齢者が同居する世帯。新型コロナウイルスの影響を受け減収した世帯に対して、資金を貸し付けることによって経済的自立や背景にある生活問題の解決等に向けて支援しました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規貸付	8	9	164	153	27
緊急小口	8	7	2	4	3
教育支援資金	0	1	1	3	3
総合支援資金	0	0	0	0	1
福祉資金	0	1	1	0	0
コロナ特例緊急小口資金	-	1	77	55	11
コロナ特例総合支援資金	-	0	53	54	9
コロナ特例総合支援資金延長貸付	-	-	19	12	-
コロナ特例総合支援資金再貸付	-	-	11	25	-
貸付相談	75	99	706	611	267
制度内容等問合せ	155	248	539	771	540
償還相談	52	65	114	127	58



(3) 相談事業

目的	これまでの相談の概念に捉われない、「断らない相談」へ向けて課題の整理・方針の検討を進めます。		
目標	複雑化・複合化する相談等にも対応できるよう、総合相談の実現へ向けて社協内・関係機関との話し合いの場を持ちます。	評価	○

①福祉相談窓口の設置

事業名称等	期日等	目的・内容
福祉相談窓口	随時	住民からの福祉に関する相談、生活上の心配事等について随時受け付け、情報提供を行っています。

(4) 成年後見制度

目的	認知症や知的・精神に障がいのある方は、契約を前提とする社会の中で、大変生活しづらくなっており、住み慣れた地域で安心して生活するためには、権利擁護の充実が求められています。本会が成年後見人等となり、その方の判断能力を補い、権利を擁護し、安心して、生活できるように支援していきます。		
目標	法人後見立ち上げ検討委員会の協議を踏まえ、受任体制の整備を進めます。また中長期的には、判断能力が不十分な認知症高齢者や障がいのある人へ、社協ならではのネットワークを生かし、法人後見事業や日常生活自立支援事業を通じて、身上保護や財産管理など権利擁護の仕組みを整備していきます。	評価	◎

◎法人後見等の受任

・法人後見等の受任状況は、目標どおり後見類型にて2件受任しました。いずれも第1回審査会にて審査しています。

◇1件目 類型:後見 申立人:大井町長 (令和4年12月審判)

◇2件目 類型:後見 申立人:親族(いとこ) (令和5年2月審判)

事業名称等	期日・会場	内容等
法人後見事業審査会の開催	第1回法人後見事業審査会 12月6日(火) Zoomによる開催	(1)正副委員長の選任について (2)審査
	第2回法人後見事業審査会 3月27日(月) Zoomによる開催	(1)報告 (2)その他

事業名称等	期 日 ・ 会 場	内 容 等
法人後見実施社協連絡会	7月12日(火) 社協事務所 Zoomによる開催	・法人後見の運用について ・ケースについて
	2月2日(木) 社協事務所 Zoomによる開催	・個別事例について ・法人運営について
あしがら成年後見センター地域連携ネットワーク連絡会	2月3日(金) 南足柄市文化会館	あしがら成年後見センターの運営状況について 足柄上地区の課題について
成年後見制度利用促進連絡協議会	9月13日(火) 社協事務所 Zoomによる開催	事例報告(市町村における中核機関の取組等) 事前協議題に基づく協議 専門職団体からの助言等 横浜家庭裁判所の取組
成年後見利用促進連絡調整会議	10月28日(金) 社協事務所 Zoomによる開催	内容 申立てや利用促進について協議

(5)障がい者の就労に関する取組

目 的	障がい者の就労に関して、現状の課題を整理するとともに、解決策を検討することを目的に検討会を設置します。		
目 標	障がいのある方々が、町内で安心して働けるための環境整備へ向けて、当事者や関係機関と連携を図り解決へ向けた取組を進めます。	評 価	○

当事者組織をはじめ、相談支援機関並びに行政機関の職員等の参画を得て、委員会を開催しました。障がい者の就労の実態把握と、今後の就労に関する要望等を把握するために、レスパイトサービス登録世帯等を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果の概要は、既に就労されている方々は、現在の就労を継続したいという希望が比較的多くありました。課題としては事業所までの送迎や親亡き後の住居や生活についてでした。また、学齢期等で今後就労の検討をされる方々は、町内に新しい事業所を望まれる方が多くいられました。加えて、生活介護を希望される声もあり、現在のサービス量・選択肢が不足している実態を把握することができました。

令和5年度に町内に新しく就労継続支援B型事業所が開所されることから、現状の課題等調査結果を伝え課題の解決へ向けて連携を図ります。

事業名称等	期 日 ・ 会 場	内 容 等
障がい者の就労に関する検討会の開催	第1回検討会 7月27日(水) 社協事務所	(1)座長の選任について (2)検討会設置の背景と目的等について (3)障がい者の就労に関する現状について (4)検討会の進め方・今後のスケジュールについて (5)その他
	第2回検討会 11月9日(水) 社協事務所	(1)調査の集計結果について (2)障がい者の就労等に関するニーズと課題について (3)その他について
	第3回検討会 2月27日(月) 社協事務所	(1)ニーズ調査の追加データについて (2)現状の課題について (3)その他

4. 法人運営部門

○職員の自発的な参加による課題提起・情報共有の場として、フライデーミーティングを時間外に開催しました。

(1)組織運営の充実

①理事会の開催

目的	社会福祉法人制度改革を踏まえ、理事会・評議員会機能の強化を図る。理事会においては、協議体、運動体機能をより発揮するための運営の充実を図る		
目標	組織運営上の問題や課題解決、今後の取組について理事会や関係機関等との協議を継続的に進めます。具体的な取組については正副会長会議を中心に状況に応じた段階的な課題解決を進めます。	評価	○

執行機関である理事会を4回開催し、議案はすべて承認されました。

回	期 日	議 題
1	5月31日(火) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和3年度事業報告及び令和3年度計算書類並びに財産目録の承認について 第2号議案 ハラスメント防止規程の制定について 第3号議案 役員を選任候補者の推薦について 第4号議案 評議員を選任候補者の推薦について 第5号議案 定時評議員会の招集について 第6号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 【報告事項】 ア 会長の職務執行状況の報告 イ 「おいまちSDGsパートナー」について
2	10月25日(火) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和4年度福祉みんなのつどいの開催について 第2号議案 令和4年度被表彰者の審査について 第3号議案 令和4年度収支補正予算について 【報告事項】 ア 会長の職務執行状況の報告
3	1月26日(木) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和4年度第2次補正予算について 第2号議案 評議員選任候補者の推薦について 第3号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 【報告事項】 報告第1号 会長の職務執行状況の報告
4	3月22日(水) 保健福祉センター	【決議事項】 第1号議案 令和5年度事業計画(案)について 第2号議案 令和5年度収支予算(案)について 第3号議案 令和4年度臨時評議員会の開催について

②正副会長会議の開催

理事会等の開催前の事前協議の場として開催しました。

回	期 日	議 題
1	4月25日(月) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度新規・重点事業について ●デジタル活用支援事業の取組について ●事務分掌について ●ハラスメント防止規程の制定について ●今後の会議日程等について
2	5月27日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度第1回理事会について ●おおい中央公園オープニングイベントへの参加について
3	1月18日(水) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度第2次補正予算について ●評議員選任候補者の推薦について ●評議員選任・解任委員会の招集について ●理事会の招集について ●令和5年度重点事業について ●買い物ツアーの評価について

③評議員会の開催

議決機関である評議員会を2回開催しました。

回	期 日	議 題
1	6月16日(木) 生涯学習センター	【報告事項】 令和3年度事業報告 【決議事項】 第1号議案 令和3年度計算書類及び財産目録の承認について 第2号議案 役員の選任について
2	3月30日(水) 生涯学習センター	【決議事項】 第1号議案 令和5年度事業計画(案)について 第2号議案 令和5年度収支予算(案)について

④監事会の開催

監事会を1回開催し、予算・業務の執行状況監査を受けました。監査の結果、適正に処理されていると認められました。

回	期日・会場	議 題
1	5月23日(月) 社協事務所	(1)令和3年度業務執行状況の監査 (2)令和3年度収支決算監査

⑤評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選出母体からの変更の申し出に伴い、新たな評議員の選任を行うため開催しました。

回	期日・会場	議 題
1	6月16日(木) 社協事務所	第1号議案 評議員の選任について
2	2月1日(水) 社協事務所	第1号議案 評議員の選任について

(2)財務管理、財源の確保

目 的	法人運営における活動財源確保は喫緊の課題であり、これまでの方法にとどまらない自主財源確保の方法など、理事会等での協議を踏まえ計画的な取組を行います。		
目 標	法人運営財源の現状について、改めて理事会など組織内機関で確認し、今後の地域福祉の中核を担う社協の組織運営体制についての共通の理解を進めます。	評 価	○

①会員加入の促進

会員募集は、全世帯加入を目標に自治会関係者等の協力をお願いするとともに、組長の集まる会議に出席し会費についての説明を行いました。一般会費は、コロナウイルスの影響を踏まえ例年より納入期日のタイミングを遅らせています。また、賛助会員や団体会員においては、ダイレクトメールにより依頼をしました。町町民課の協力により、大井町への転入者に「社協のご案内」を配布して、事業の紹介と会員への入会促進を図りました。

会員区分	会費 (年額)	加入世帯数等		金額	
			前年度		前年度
一般会員	一口 500円	4,351世帯	4,433	3,519,500円	3,624,500円
団体会員	一口 500円	20団体	21	112,500円	115,500円
賛助会員	一口 3,000円	98社	98	698,000円	701,000円
合計				4,330,000円	4,441,000円

②会費説明会

社協の事業と社協会費の理解を図るため、自治会の組長会議で説明しました。また、会費の資料をお届けした際にも随時説明しました。なお、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により組長会議の内容が縮小されている自治会もあり、説明に伺ったのは1か所でした。

回	期 日	会 場	議 題
1	7月17日(日)	市場自治会館	(1) 社協事業について (2) 会費について

③企業広告の掲載

広報紙に企業広告を掲載し広告掲載料をいただきました。

協力企業数	広 告 掲 載 料
10社	172,000円

④社会福祉基金の造成等

社会福祉基金の保有額が1千万円余りとなり、今後も法人運営事業に基金原資を投入する状況にあります。残高の底が見えてきていることから、社協として主体的に事業展開を行うことも想定し、一定の残高を保有しておく必要があります。

項 目	金 額
令和4年3月31日現在積立累計額	12,111,726 円
令和5年3月31日現在積立累計額	12,111,841 円
令和4年度分基金利息額	115 円

⑤寄附金の受け入れ

町民の方々より寄せられた寄附金品とその配分等は次のとおりでした。

【金員】

区 分	件 数	金 額	説 明
一般寄附	44	565,004円	一般寄附金として
指定寄附	1	700,000円	買物支援事業用車両購入費として
善意の募金箱	14	121,917円	町内の商店などに設置させていただいている募金箱への寄附
合 計	59	1,386,921円	

【物品】

物 品 名	件 数	配 分 等 の 説 明
DVD(歌謡曲等)	3	町内高齢者施設等
清涼飲料水(3箱)	1	地域のサロン等
乾物	1	生活困窮世帯他
紙パンツ・尿とりパッド	3	介護世帯
レトルト・保存食品	4	生活困窮世帯他
音楽CD	1	
お米	1	生活困窮世帯他
介護用レトルト食品	1	
トートバッグ	1	わくわく・ショッピング利用者他
車いす・ベッドテーブル	1	
合 計	17	

(3)職員の連携強化・資質の向上

目 的	各部門の連携強化と個々の職員の専門性向上により、総合的な生活支援の体制をつくります。		
目 標	福祉に限定した資格取得や研修の受講とせず、ICTなどの利活用を含めた幅の広い資質向上へ向けて取組みます。	評 価	◎

①職員間ミーティングの拡充

担当業務毎の縦割り解消並びに課題や成果の共有等を目的とし、職員の主体的な参加による「フライデーミーティング」を開催しました。毎回、参加する職員から検討したいテーマ・個別ケースなどを提案してもらい、協議・検討を進めています。

回	期 日	内 容 等
1	4月14日(木) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●ファイリングについて ●デジタル活用支援推進事業の申請について ●おおい中央公園オープニングイベントの内容について ●職場の環境づくりについて
2	5月19日(木) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニングイベントについて ●社会福祉士実習受入れについて ●デジタル活用支援推進事業について
3	6月17日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●お寺サロン(仮称)について ●生活応援隊について ●移送サービスの今後について ●令和4年度年間事業スケジュールについて
4	7月15日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者の就労に関する検討会について ●8月以降新しい職員が入るまでの体制について ●「福祉職集まれ～」について ●移送サービス料金改定について
5	8月26日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●アルコールチェックの実施について ●「福祉職集まれー」振り返りと今後の展開 ●福祉みんなのつどい・ボランティアフェスティバルについて
6	9月16日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル活用支援推進事業について
7	10月21日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●アサーション研修を受講して(研修報告会) ●LINE公式アカウント取得について ●高齢者の外出支援について
8	11月25日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●共同送迎サービス(ゴイッショ)について
9	12月16日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●会食会について ●産業まつりフリーマーケットについて ●LINE公式アカウントの活用について
10	1月20日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●スマホ教室の今後の展開について ●令和4年度の事業評価について ●令和5年度の重点事業について ●メンタルヘルスについて
11	2月17日(金) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員児童委員研修会報告 ●アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム ●令和5年度重点事業について
12	3月23日(木) 社協事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●No.200号記念 広報紙7月15日号の内容について ●令和5年度のミーティングの持ち方について

②各種研修会・会議への参加

各種サービスや業務の充実を図るために研修会等に参加し資質向上に努めました。

回	区分	期日・会場	内容等
1	第1回日常生活自立支援事業実施社協連絡会	5月26日(木) Zoomによる開催	・日常生活自立支援事業実施要綱等の改正について ・神奈川県内における成年後見の取組について
2	第2回日常生活自立支援事業実施社協連絡会	3月2日(木) Zoomによる開催	・日常生活自立支援事業標準実施要綱等の一部改正について ・預かり物の取扱いについて
3	情報交換会	12月14日(水) Zoomによる開催	・飛騨市終活支援センターの取組内容 ・県内社協における取組状況報告
4	専門員実践力強化研修会Ⅱ	2月9日(木)、10日(金) 全国社会福祉協議会	・個別支援における多機関・多職種連携 ・日常生活自立支援事業と成年後見制度の連携 ・事例検討
5	生活福祉資金担当職員研修会	6月28日(火) Zoomによる開催	・各種貸付事業の内容について
6	福祉有償運送2市8町運営協議会	7月28日(木) 箱根町役場	・利用用の改定について
7	たすけあい型の地域交通・ネットワーク交流会	10月14日(金) Zoomによる開催	・各団体の活動概要について ・地域交通の課題について

③資格取得支援制度の活用促進

各種新規事業を実施するなかで、より求められる職員の専門性向上を図るために資格取得支援制度の利用を促進しました。令和4年度は2名が国家資格に合格しました。

第35回 社会福祉士国家試験 合格 1名

第25回 精神保健福祉士国家試験 合格 1名

(4)地域福祉推進のためのネットワーク

目的	各種団体との連携強化を図るとともに、新たなネットワークづくりへ向けた取組みを積極的に推進します。		
目標	関係機関の会議等に積極的に参加し、連携・協働に向けたネットワークの強化に努めます。	評価	○

①関係機関・団体との連携

福祉ニーズの把握や問題解決への調整・協働や効率的な事業の実施等、関係機関・団体との連絡・調整、運営への参画に努めました。

会議等の名称	期日・会場	内容等
民生委員児童委員協議会との連携	通年	定例の民生委員児童委員協議会へ参加し、社協事業の周知や協力依頼、住民の生活問題の把握に向けた協働などを行っています。

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
市町村社協部会 会長会幹事会 (県社協)	5月24日(火)	・令和3年度の部会事業の実施状況について ・令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
大井町地域公共 交通会議	5月30日(月) 11月18日(金) 3月20日(月) 役場会議室	・地域公共交通計画の実施事業の実施状況について ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 ・おおいゆめバス利用者アンケート調査結果 ・令和4年度おおいゆめバス利用実績について ・互助輸送サービスについて ・公共交通利用促進策について
大井町職員防災 検討委員会	7月28日(木) 8月9日(火) 9月7日(水) 11月9日(水) 12月6日(火) 1月12日(木) 生涯学習センター	・大井町職員防災検討委員会の運営について ・大井町地域防災計画改訂の方向性について ・大井町総合防災訓練の概要について
アジャイル型地域 包括ケア政策共 創プログラム	8月30日(火) 9月20日(火) 9月21日(水) 10月3日(月) 10月7日(金) 10月18日(火) 11月15日(火) 11月28日(月) 11月30日(水) 12月2日(金) 12月6日(火) 12月19日(月) 2月8日(水) 2月13日(月) 保健福祉センター	高齢者の暮らしを支える人と地域の可能性を最大化してい くため、豊富な支援実績を持つメンター陣のハンズオン支援 により、激しい環境変化や複雑化する地域課題に迅速かつ 柔軟に向き合える基礎自治体の基礎づくりを目指す、地域包 括ケア・地域共生社会を実現する推進エンジンである本プロ グラムへ、昨年に引き続き福祉課が応募されました。 生活支援コーディネーターとして参加の要請があり各回の プログラムへ出席しました。 ◎基礎自治体の役割価値と可能性 ◎高齢者の暮らしと地域課題 ◎仲間をつくり関係者を動かす ◎実践と成果の手ごたえをつかむ ◎最終報告 実践報告とこれから
足柄上地区社協 連絡会への参画	通 年	足柄上地区1市5町の社協で連絡会を組織し、会長会・事務 局長会・職員会の担当制をしいて各種の協働事業を実施す るとともに会議を開催し連絡調整を図っています。
幹事会	4月22日(金) 南足柄市りんどう会 館	◎令和3年度事業報告・決算報告 ◎令和4年度事業計画(案)・予算(案)
役員合同研修会	2月24日(金) 開成町福祉会館	テーマ 自治会と社会福祉協議会の連携 講師 駒澤大学 教授 川上富雄氏
事務局長・担当職 員 合同部会	7月4日(火) 10月19日(水) 3月13日(火) 中井町保健福祉セン ター	◎災害ボランティアセンター担当者会議について ◎地域福祉担当者会議について ◎役員合同研修会について ◎権利擁護事業担当者会議について

会議等の名称	期日・会場	内 容 等
地域福祉担当者会議	7月1日(金) 12月12日(月) 大井町社協事務所	◎令和4年度の会議の持ち方について ◎地域福祉研修会について ◎情報交換
地域福祉担当職員研修会	9月27日(火) 生涯学習センター	◎報徳食品支援センターの取組み状況 講師 報徳食品支援センター 理事長 本岡俊郎氏 ◎生活困窮者支援の取組み状況と課題 講師 神奈川県社会福祉協議会 地域課長 金山京子氏
権利擁護事業担当者会議	6月24日(金) 開成町福祉会館 2月22日(水) 南足柄市りんどう会館	◎あしがら成年後見センターについて ◎日常生活自立支援事業の実施状況
生活支援コーディネーター実務者情報交換会	7月27日(水) 2月20日(月) 社協事務所	◎令和4年度の生活支援コーディネーターの取組について ◎情報交換
災害ボランティアセンター担当者会議・研修会	5月20日(金) 9月6日(火) 11月25日(金)研修 3月6日(月) 中井町保健福祉センター	◎令和4年度の取組について ◎職員研修について ◎みんかなとの連携について ◎災害VCにおけるICTの活用について ◎研修会の反省
西湘ブロック社協ボランティア担当職員会議	7月8日(金) 南足柄市りんどう会館	◎令和3年度の取組状況について ◎令和4年度の活動計画について ◎情報交換
地域けあねっとわーく会議	5月16日(月) 7月11日(月) 9月12日(月) 1月16日(月) 3月20日(月) 保健福祉センター	◎事例検討(町内介護保険事業所持ち回り) ◎新型コロナウイルス感染症拡大予防に関する対応について ◎介護予防のための地域ケア個別会議 ◎本人が望む暮らしや元の生活に戻る支援について
要保護児童対策地域協議会実務者会議	4月14日(木) 7月7日(木) 2月17日(木) 保健福祉センター	◎要保護児童対策地域協議会設置要綱について ◎居所不明児童に係る対応基準について ◎「保育園・幼稚園・学校生活での気づきから支援まで」について ◎要保護児童等進行管理について
デジタル活用支援推進事業に関する視察受け入れ	2月7日(火) 社協事務所	◎デジタル活用支援推進事業の実施状況について ◎デジタル活用支援推進事業の事務手続きについて
綾瀬市・座間市・県社協の災害ボランティアセンター共同訓練	2月9日(木) 綾瀬市文化会館	◎災害時支援ソフト「kintone」について ◎「kintone体験」及び「kintone活用方法及び事例について」
生涯学習推進委員会会議	10月27日(木) 1月26日(木) 3月23日(木) 生涯学習センター	◎各課の取組状況について ◎生涯学習カレンダーについて ◎令和4年度生涯学習関連事業について

②共同募金会大井町支会の運営

会議等の名称	期 日 ・ 会 場	内 容 等
共同募金運動との連携 (団体事務)	通 年	当協議会が共同募金会大井町支会として募金運動を実施しています。
支会事務局長会議	10月21日(金) 2月17日(金) 県社会福祉センター	・令和4年度共同募金運動について
支会事務局担当職員会議	4月22日(金) 県社会福祉センター	・令和4年度共同募金運動について
県央、西湘地区支会事務担当職員会議	7月22日(金) 県社会福祉センター	・令和4年度共同募金運動について

赤い羽根募金は10月1日(土)～3月31日(金)まで。年末たすけあい募金は12月1日(木)～12月31日(土)まで実施しました。それぞれの募金額は次のとおりです。

内 容	金 額	備 考
募金総額	3,075,066 円	
赤い羽根募金	1,889,825 円	
戸別募金	1,516,770 円	4,738世帯
法人募金	144,000 円	33社
職域募金	21,668 円	4か所
校内募金	20,145 円	2校
その他の募金	187,242 円	
年末たすけあい募金	1,185,241 円	
戸別募金	1,185,241 円	4,738世帯

●街頭募金運動は、新型コロナウイルスの関係で中止しましたが、社協の車輛にパネルを貼り付け啓発を実施しました。